

SDMA testing key to better kidney diagnoses

腎臓病の早期発見に役立つバイオマーカー

SDMA (対称性ジメチルアルギニン) とは

腎機能を表す血液化学検査項目の一つです

従来から腎機能を示す指標であるCRE (クレアチニン) 検査に

SDMAを加えることで 軽度から中程度にあたる

早期の腎臓病の検出が出来るようになりました

検査機関からの報告では 従来の方法と比較して

犬では平均 9.8 か月、猫では平均 17 か月、

早い段階で慢性腎臓病を検出できたとされています。

犬も猫も 初期の慢性腎臓病では明確な症状は現れません

そのため 若齢期からの健康診断等で 検査を受けることが有効となり

健康診断の受診においてはもちろん、世界でも広く

腎臓病の診断サポートとして利用されています

当院では 上記 血液検査をはじめ 尿検査、必要に応じレントゲン、腹部画像診断、エコー検査もあわせ

より正確な診断と的確な治療、ケアにつなげていきたいと考えます

10頭に1頭



3頭に1頭



犬の10頭に1頭、猫の3頭に1頭が腎臓病になるといわれております

早期の段階で腎臓病を発見することで 腎臓機能を保護し 病気の進行を

効果的に遅らせることが出来ます 重篤な症状となる前の検査が有効です

PROBLEM

こんな症状も

サインかもしれません

多飲多尿 ・回数増加

尿の色が薄くなった 舌やまぶたの色が白っぽい

毛並みが悪くなってきた

体重減少 食欲低下

頻繁に嘔吐がある、元気がない